



笠懸小学校は今年も思いやりも日本一を目指します！

やさしく
たたく
しまし
こい



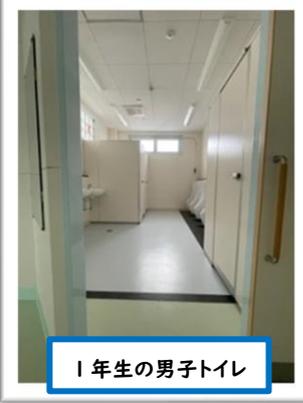
笠懸小学校

学校だより No.18 2022.10.3

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

新しいトイレの使用が開始されました

7月から始まったトイレ改修工事が終了し、9月26日（月）より使用開始となりました。一般の家庭と同じようにドライ方式となり、掃除がしやすくなりました。また、すべて洋式の便座となり、子どもたちの使い勝手もよくなったのではないかと思います。新しくなったトイレをいつまでもキレイに使えるよう、子どもたちにお願したところ。いろいろな学年の児童の皆さんにトイレの使い心地についてインタビューしたところ、みんな「いいよー。」と言ってくれました。付度した回答ではないことを祈ります。1年生の教室前の一番奥と体育館に、多目的トイレを設置しましたので、バリアフリーへの対応も少しだけ進みました。保護者の皆様も来校された際には、新しくなったトイレを気軽にご使用ください。



1年生の男子トイレ



新しくできた多目的トイレ

今年度は、体育館と校舎西半分の改修工事を行いました。来年度は残った校舎東側のトイレ及び手洗い場の改修工事を行う予定です。6年生の皆さんは、新しいトイレを含めて多くのトイレ掃除をしているにもかかわらず、普段使うのは古い方のトイレになってしまっていて申し訳なく思います。空いている時に使ってみてください。

交通少年団への参加・協力ありがとう！

1学期に児童会の皆さんが交通少年団員となり、校門に立って登下校の安全への意識を高める呼びかけや、あいさつ運動を行いました。また、6年生の皆さんが登校の際に「あいさつ運動」を行ってくれました。この一連の取組の中で、参加した子どもたちは、交通安全への意識が高まったり、しっかりあいさつすることの大切さ、あいさつが返ってこないことの寂しさを実感したりする経験ができたと感じました。

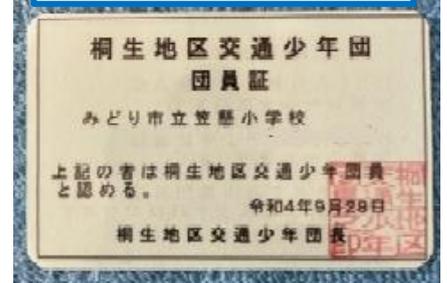
そこで、安全担当の先生や5、6年生の先生に協力してもらいながら、「交通少年団」への参加を呼びかけたところ、50人もの5、6年生が手を挙げてくれました。9月28日（水）に、その50人が参加して、東門、西門、校舎前などに分かれて、「あいさつ運動」を中心に活動しました。当日は、桐生警察署の交通課の方や市役所の方もお越しになり、子どもたちの活動を見守っていただき、お褒めの言葉もいただきました。また、桐生警察署からは、交通少年団の「団員証」もいただきました。

このように、自分や学校の生活を向上させる取組に自ら主体的に参加し、その取組がいろいろな人から認められ、褒められるような活動は、子どもたちの成長を加速させると思います。笠小では、今回の取組を含め、子どもたちが活躍する場面をさらに工夫することで、子どもたちの成長をうながしていきたいと思っています。朝早くに子どもたちを送り出させていただきました各家庭の保護者の皆様にも感謝申し上げます。また、この日は、登校班の班長さんが抜けてしまった班も多かったと思いますが、副班長さんを中心に安全に登校できたこともよかったですと思います。



参加した5、6年生の様子

授与された団員証(名前も入ります)



令和4年度第1回学校評価の結果③「豊かな心」について

今号では、「豊かな心」についての結果です。多くの項目でたいへんよい評価となり、「思いやり日本一」を掲げる笠小にふさわしい結果であると感じました。保護者の皆様にも豊かな心の育成に熱心に取り組んでいただきありがとうございます。そして、児童の多くが自己肯定感を高くもっていることが分かり、素晴らしいことであると感じました。今号の項目については、100%をめざす内容であると思いますので、引き続き学校でも努力してまいります。

評価対象	評価項目	具体的数値項目	方 策	自己評価	改善策
Ⅲ 豊かな心	5a 進んであいさつをしていますか。	「すすんであいさつできる」と答える保護者・児童が85%以上である。	○児童会や6年中心の活動を企画。 ○教職員からも挨拶を積極的に行う。 ○短学活でも積極的に取り上げる。 ○授業において、丁寧に指導する。	「おおむね満足」以上の保護者が79.8%「C」 児童が90.1%「A」	地域や他の機関から「あいさつがよくできている」という声も多くなっています。素晴らしいです。その一方で、家庭や保護者に対しては十分でないことが分かります。学校でできているあいさつを家庭でもできるように家庭に呼びかけを行っていきます。 代表委員会、6年生が行っているあいさつ運動を他の委員会、他学年で行い、あいさつをして相手から返ってくる経験をもたせます。
	5b 名前を呼ばれたら、しっかり返事をしていますか。	「呼名されたら、返事をしている」と答える保護者・児童が85%以上である。		「おおむね満足」以上の保護者が89.9%「B」 児童が95.6%「A」	児童の名前を呼ぶときに「〇〇さん」ときちんと呼ぶように全職員で徹底していくようにします。また、呼名され、しっかり返事ができた児童を称賛します。
	6a 困っている友達を見たとき、親切にしていますか。	「子どもは相手の立場や気持ちを考えた、親切な言動がとれる」と答える保護者が85%以上である。	○一人一人を大切にした学校・学年・学級経営を行う。 ○児童主体のいじめ防止対策を実践する。	「おおむね満足」以上の保護者が92.9%「A」 児童が92.3%「A」	保護者、児童ともに非常に高い結果で素晴らしいです。「思いやり日本一」をめざす笠小としてふさわしい結果になりました。家庭でもしっかり指導いただいていることが分かります。100%をめざして、取り組んでいきましょう。
	6b お子さんは、やさしい気持ちで育っていますか。	「お子さんは、やさしい気持ちが育っている」と答える保護者が85%以上である。	○道徳科でも重点的に扱う。	「おおむね満足」以上の保護者が95.9%「A」	教職員は児童のよい行動に対して、「ありがとう」の気持ちを積極的に伝えるとともに良いところ探しを継続します。 代表委員会を中心とした思いやり活動を継続していきます。思いやりのある言動が見られた場合や学校での様子を学級通信などで発信したり、家庭への連絡で保護者に伝えたりするなど、家庭との連携をより一層図っていきます。

	<p>6c お子さんは、友達とよい人間関係を築けており、楽しく学校生活を送れていますか。</p>	<p>「お子さんは、友達とよい人間関係を築けており、楽しく学校生活を送れていますか。」と答える保護者が85%以上である。</p>		<p>「おおむね満足」以上の保護者が94.5%「B」</p>	<p>毎月の学校生活アンケートを活用し、いじめに関してだけでなく、学校での楽しかった様子や担任に伝えたいことなどの内容も全職員で共有できるようにします。その際、分離したメリットを生かし、一人一人の児童に多くの教職員で見守り、声かけを実践していきます。</p> <p>学級レクなどを活用して、なかなか輪に入れない子にも友だちと遊ぶ楽しさを味わえるようにします。</p> <p>学校、クラスのルールを確認し、クラスの環境整備を行うことで全員が気持ちよく生活できるようにすることを目指します。</p>
--	--	--	--	--------------------------------	---